

事業所名

総合発達支援プラザ ふらっぷ2号館

支援プログラム

作成日

2025年

1月

6日

|           |   |   |    |         |      |  |    |    |
|-----------|---|---|----|---------|------|--|----|----|
| 法人（事業所）理念 | ◎その児の発達・成長への可能性を家族や関係者と協力し合って最大限に引き出し、一般社会の中で個人として生きていけるよう支援します。<br>◎発達障がい児とのケアリング体験が地域社会に拡がり、障害を有しても共に支え合って暮らせる地域社会へとつながるよう取り組みます。   |   |    |         |      |  |    |    |
| 支援方針      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの発達・成長の可能性を引き出せるよう、早期から関わります。</li> <li>・お子さんの発達を多職種の視点から捉えて、専門的な支援を行います。</li> <li>・小集団での活動の中で、お子さんにとって必要な環境設定や適切な課題の提供を行い、スモールステップで「できた！」という経験につながるよう支援します。</li> </ul>                    |   |    |         |      |  |    |    |
| 営業時間      | 8時  | 30分   | から | 15時     | 0分まで | 送迎実施の有無  | あり | なし |
| 支 援 内 容   |   |   |    |         |      |  |    |    |
| 本人支援      | 健康・生活   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活動作（食事・排泄・着脱など）の様子をお家の方と共有を行います。必要なスキルの獲得や現在行っている動作の向上など、お子さん一人一人に合わせた目標を設定し、身辺自立に向けた支援を行います。</li> <li>・生活の流れの中で、行いやすい方法や環境を考えながら提供し、必要に応じて支援量を加減しながら「自分でできた！」につながるよう関わります。</li> <li>・食事場面での食具の操作（スプーンフォーク、箸）について、行っている部分の評価と次のステップへの移行について段階付けをしながら操作の獲得を促していきます。</li> </ul>  |    |         |      |  |    |    |
|           | 運動・感覚   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な物に触れたときに感じる感覚、身体の傾きや揺れ、スピードバランスなど、重力に対する自分の体勢を自動的に認知する感覚、手足やからだ全体の位置や動きを感じ取り、ボディイメージによる滑らかな動きをする感覚など、人間に備わっている感覚器に働きかける活動を取り入れ、運動場面や生活場面でのスムーズな身体の使い方につなげます。</li> <li>・感覚過敏や鈍麻など感覚入力の調整の部分に働きかける活動を取り入れ、感覚調整ができるように促します。</li> <li>・2つの動作を同時に行う、連続した動きを続けて行うなど、複数の動きや物を組み合わせた活動を取り入れて、協調した動きの向上を進めます。</li> <li>・微細な動きや道具の操作をする活動を取り入れて、手先の操作の向上を目指します。</li> </ul> |    |         |      |  |    |    |
|           | 認知・行動   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団の環境の中で、「朝の会」「運動」「机上活動」等の活動を行い、場面に合った行動を促しながら集団参加の経験を積めるよう支援します。</li> <li>・小集団の活動の流れに沿って参加できるように予めスケジュールや活動の内容を伝える等、見通しを持って行動できるように支援します。</li> <li>・お当番活動を取り入れ、「役割の理解」や自分のやるべきことを行えた「達成感」が感じられるよう支援します。</li> <li>・自分の思いと違う等、気持ちの揺れが見られる場面では、その表出の方法を適切に促したり、気持ちが立て直せた経験につながるよう支援します。</li> </ul>   |    |         |      |  |    |    |
|           | 言語<br>コミュニケーション   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由遊びや設定された場面でのやりとりの機会を活かし、気持ちを表現する言葉や「貸して」「まげて」等場面にあった言葉を増やして行けるよう支援します。</li> <li>・困った時や不安な時など、伝えたことで欲しい助けが得られたなどの成功体験を通してヘルプのスキルを獲得できるように支援します。</li> <li>・お子さんにとってどのような伝え方が理解しやすいのかを考えながら、必要に応じて絵カード等の視覚的な手がかりを活用します。</li> <li>・お子さんの気持ちを汲みながら言葉にして受け止めたり、「YES」「NO」で答えられる形での質問や選択肢の提示等でお子さん自身が「気持ちが伝わった！」という安心感や嬉しさを感じられるように関わり、コミュニケーションの土台を育てていきます。</li> </ul>   |    |         |      |  |    |    |
|           | 人間関係<br>社会性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お友達と一緒にいる活動や遊びの中で、「一緒に楽しい！」という気持ちの共有ができる機会を作ります。</li> <li>・実際の場面ではお子さんの気持ちに沿いながら、相手の様子等に意識を向ける機会を持ち、物や場所の共有を促しながらお互いに心地よく関わった経験に繋がるよう関わります。</li> <li>・SSTカード等の教材を活用し、場面の読み取りや表情の理解、相手の気持ち等を考える機会を持ちます。</li> <li>・お友達との関わりの中で「嬉しいね」「優しいね」等の気持ちを感じられるよう関わります。</li> </ul>  |    |         |      |  |    |    |
| 家族支援      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用のお迎えの際に、その日の活動の内容やお子さんの様子等を申し送りします。ご家庭での様子や事業所での様子を共有しながら、より良い支援に繋がっていきます。</li> <li>・ご希望に応じて相談の場を設け、保護者の方の心配ごとや不安の軽減に向けて一緒に考えていきます。</li> <li>・保護者交流会や勉強会などの機会を設け、交流の場や学ぶ機会を持ちます。</li> </ul> |   |    | 移行支援    |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携の為に会議や情報の共有を行い、地域への移行を支援します。実際の場所での介入や支援が有効と考えられるケースでは、保護者と園との3者で目標や終了の時期を確認しながら保育所等訪問支援を行います。</li> </ul>              |    |    |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの地域での生活が、より良く過ごすことができるよう各関係機関との連携を図りながら、一人一人に応じた支援を行います。</li> </ul>   |   |    | 職員の質の向上 |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験年数に応じた研修会への参加。</li> <li>・事業所内での勉強会の開催。（症例検討・各専門分野リーダーの講習等）</li> <li>・児童発達管理責任者資格取得の支援有</li> <li>・強度行動障害支援者養成研修の参加</li> </ul> |    |    |
| 主な行事等     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者交流会（不定期・年数回程度）</li> <li>・相談会</li> <li>・親子参加イベント</li> </ul>   |   |    |         |      |  |    |    |